

様式第2号（第3条関係）

平成30年8月16日

篠山市議会議長 様

会派名 一以・維新
代表者名 渡辺 拓道
又は会派無所属議員の氏名



政務活動報告書

この度の政務活動を下記のとおり報告します。

記

- 活動の種類： 視察調査 ・ 研修 ・ 広報広聴活動
その他（ ）
- 活動期間： 平成30年7月26日（木）から27日（金）
- 場 所： 7月26日（木）青森県弘前市 弘前市役所
7月27日（金）青森県青森市 青森県庁
- 活動者： 渡辺 拓道、吉田 知代
- 活動の概要： 別紙1、2参照
- 考 察： 別紙1、2参照
- 活動に要した費用：

費目	詳細	金額	備考
調査旅費	旅費	114,800	航空券（伊丹⇄青森） 宿泊費 シャトルバス（青森空 港→弘前駅）

5. 活動の概要

日 程： 2018 年 7 月 26 日（木） 視察 1 日目

場 所： 弘前市役所（青森県弘前市）

出席者： 弘前市 経営戦略部 広聴広報課 主事 工藤 翔 様

弘前市 経営戦略部 広聴広報課 主事 川口 未央 様

弘前市 議会事務局 事務局長 高橋 晋二 様

渡辺 拓道、吉田知代

視察項目：弘前市のシティプロモーションについて

概要

弘前市は、青森県の西南部に位置し、東に八甲田連峰、西に「津軽富士」と呼ばれる青森県最高峰の岩木山を有し、南には世界遺産に登録されている白神山地が連なっている。広大な津軽平野は県内屈指の穀物地域を形成し、小高い丘陵地帯には青森県の基幹農産物であるりんごの約 4 割を生産する樹園地が広がり、米とりんごの田園都市として栄え、全国一のりんごの生産圏として大きな発展を遂げてきた。産業就業人口の農業は、後継者不足により全国平均約 4 %であるが、弘前市においては、高齢化率 30%を超えてはいるものの 14.3%の高い割合を占めている。りんごは高値で、台湾他東アジアへ輸出されるため、所得は安定をしている。2018 年 4 月に市長選が行われ、観光推進体制も争点となった。2 期 8 年勤めた前市長を破った桜田宏現市長は、元市役所観光振興部長である。

弘前市シティプロモーションは、平成 23 年に「弘前城築城 400 年際」を開催、大変な賑わいを見せたが、その効果を持続させるため、平成 24 年度から本格的に取り組んでいる。シティプロモーション推進方針の目的は、弘前の魅力の創出と掘り起こしを行い、その魅力を国内外に向けて戦略的に情報発信するシティプロモーションを展開することにより、ブランド力・イメージ・認知度の向上を推進することで、交流・移住人口の増加や観光産業をはじめとした産業全体の活性化を図るものである。知名度の高い地域資源を活用し、「弘前城」「弘前公園」「りんご」「さくら」などを前面に押し出し、国内外に発信しているが、特には仙台や東京に向けて発信している。市民全体で盛り上げていこうと「オール弘前」で情報発信体制構築に取り組んでいる。また、シティプロモーションアドバイザーによる助言も取り入れ「地域ブランド調査 魅力度」では、H29 年度目標値 40 位を H28 年度に達成した。

また、北海道新幹線の開業や弘前城の石垣修理等を要因に交流人口の減少による地域経済への悪影響を懸念された。そこで、新たな観光資源の創出と国内外への積極的な情報発信で課題解決をと平成 28 年には、新たなシティプロモーション戦略として「弘前デザインウ

ワーク」として展開している。

6. 考察

今回弘前市のシティプロモーションの取組みを伺い感じたことは、企画力と情報発信力の高さである。たとえば、100年ぶりの弘前城本丸の石垣修理、これは観光客が減るかもしれないマイナス要素を逆に利用して、天守移動を公開型、体験型の工事を実施「曳屋ウィーク」を開催している。結果、有料区域入園者数約3万人、体験型3901人と前年同月比の約3倍、メディア露出は海外メディア含め計150回以上、広告効果約25億450万円と大成功となっている。また、「さくら前線おっかけたいプロモーション」と題し、弘前公園の桜の知名度の高さを利用し、県外の桜の名所で弘前市や弘前さくら祭り等のイベントPPを行っている。篠山市もJR大阪駅アトリウム広場や東京、台湾などへ特産品の出張PRを行っているが、特産品以外にも日本遺産である「丹波焼」や「伝統的建造物群保存地区」「紅葉」なども積極的にイベントでPRすべきだと感じた。また、弘前市では「SHIROFES（城フェス）」というダンス等をメインとした複合フェスティバルを地元のクリエイターだけでなく、市民全員が参加し長く親しまれるプログラムを展開しており、海外からの参加者も多いという。また、「弘前クリエイター展」として、世界公募によるリンゴのデザインを募集し、47カ国から応募があるという。篠山でも国内だけでなく、海外を視野に入れた長く続けられるイベントを実施すべきと感じた。また、弘前では情報発信事業として年間約67万円でプレリリース会社へ委託し、年12回主要メディアへリリースしている。さらに、交通費のみ負担してメディア招へい事業を行っている。篠山市は、メディアへの発信が少ないように思われる。広告効果を考えればメディア招へいに関する交通費は必要最低経費として、今後予算化すべきである。また弘前市に限ったことではないが、企画力、情報発信力に優れている自治体は、民間のノウハウを活かすべく専門家コンサルを活用している。篠山市においても、篠山の魅力発信、篠山のブランド力向上に向けてプロデューサーのアドバイスを受けるなど体制づくりの強化も課題であると感じた。



5. 活動の概要

日 程 : 2018年7月27日(金) 視察2日目
場 所 : 青森県庁(青森市長島)
出席者 : 青森県観光国際戦略局 国際誘客推進監 宮古 暁 様
渡辺 拓道、吉田 知代

視察項目 : 青森県におけるインバウンド振興施策について

概要

人口減少の克服は、青森県にとっても課題である。人口減少克服のポイントは、「経済を回す」である。高品質の県産品を作り販路を開拓することだけでなく、地域資源を活用した新産業の創出・育成や国内外からの観光客を呼び込み、県外・海外から稼ぐことである。

訪日外国人の増加など好機を踏まえ、青森県観光ステージを回復から成長へ。ネクスト“A”計画とし、平成26年から取組み本年が戦略最終年となり、県民、観光団体、関連団体、事業者、行政などが共通の目標を掲げて取り組むこととしている。戦略の基本方針としては、4つの基本方針を立て、旅行の形態等への変化に対応すること、地域の魅力を高めること、情報発信や誘客の的を絞ること、ブランドイメージを世界に発信することとしている。

この5年間のプロジェクトでは、地域ブランドの確立、観光産業の成長基盤の強化など6つの戦略的プロジェクトを進めてきたが、その一つが外国人観光客の誘致の強化、推進である。

観光庁が行った2017年宿泊旅行統計調査では、青森県の外国人延べ宿泊者数は過去最高の約23万9千人を記録し、初めて東北6県で最多となった。伸び率は、震災前の404%、前年比167%となり、伸び率において全国1位である。これは青森県観光国際戦略推進本部、本部長である三村申吾青森県知事が、北海道の玄関口である青函周遊観光をはじめとした立体観光の推進を実現したからである。青森空港発着の国際線の充実や北海道新幹線の開業による北海道との組み合わせツアーが功を奏している。また、東北で最多のクルーズ客船が寄港する青森港では、外国人クルーズ船寄港回数が平成25年は8回だったものが、平成29年は15回と増加している。国・県・他自治体各関係団体が、青森港国際化推進協議会と連携して情報共有し、推進体制を強化してきた結果である。とはいえ、東北地方への宿泊者数は、全国でも下位グループにあり、誘客の強化が必要であり、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、大きく飛躍するチャンスの時期と挑戦を続けている。

6. 考察

篠山市のインバウンドへの取組が遅れているのは、単一自治体での取組みに限界があるからだ。そこで、訪日宿泊観光客数の増加が全国トップとなった青森県に、市町村との連携やインバウンド戦略を学ぶこととした。

青森県では、「強みをとことん、課題をチャンスに」と地方創生に取り組んでいる。人口が減少しても、地域の中で多様な雇用を生み出し、しっかり循環させるための重点施策の一つがインバウンドである。その目標達成に向け、県として団体や市町村間の連携調整や都道府県間の広域連携を強化している。外国人青森ねぶた祭や津軽塗り、弘前城や奥入瀬溪流などの地域資源や文化資源を生かしたしごとづくりとして、旅行エージェントに対しこれらを活用した旅行商品の導入を働きかけ、インバウンド誘客と雇用の創出に繋げている。また、国内外の県産農産品の輸出取扱額は、年々増加している。そこには、県産品フェアなどの地道な営業活動の積み重ねとアジア圏へ最短翌日配送可能にするなど物流体制の構築があったからである。6地域の県民局単位でも取組を積極的に行っており、ランチや三味線ライブを取り入れたりりんごツアーなどコンテンツの開発にも余念がない。この開発には、地域の魅力を発信する県からの派遣アドバイザーがおり、篠山市にも必要であろう。

また国際誘客のため、外国人延べ宿泊者数が全国3位の北海道の南部と青森県を一つの旅行エリアとしている。さらには近隣県や東京、青森、函館、札幌の新幹線ルートと連携した旅行商品の造成促進とプロモーション活動を各関係機関と実施している。

たとえば、青森港国際化推進協議会では、青森港に寄港するクルーズ客船100隻、クルーズ旅客数10万人を目指し、推進体制をとっている。これは、欧米のクルーズが安定したことやアジアの所得増や低料金化でクルーズ需要が拡大しているからである。その、クルーズ客への促進アクションプランとしての体制づくりが行われている。例を挙げれば、北米アドバイザーの設置やクルーズ客船に向けた周遊コースや寄港日にあわせ臨時観光案内所を設置、商店街もクルーズ寄港にあわせた開店時間の設置を行うなど、受入体制の充実強化やクルーズサポーターの育成も行っている。

日本を訪れるインバウンド客は急増し、関西では外国人延べ宿泊者数全国2位の大阪と全国4位の京都、それに対し兵庫県は全国12位である。三菱総合研究所が関西国際空港から出国する外国人旅行者に対して、聞き取り調査を実施したところ、大阪では、「難波・心斎橋」が702万人に対し、「神戸・三宮」は74万人と10分の1ほどの水準にとどまっている。また、府県間の流動量（移動の延べ回数）に関しても、「大阪―京都」の延べ1434万人に対し、「大阪―兵庫」は延べ384万人だった。兵庫県は海と山があり、かつては日本を代表する観光地であったはずだが、送客業者から兵庫県のインバウンドに対する取組の弱さを指摘されている。今年開港150周年を迎える神戸港には、世界各国からの客船を迎え入れるポートターミナルがある。しかし大型客船の寄港数が過去最多を記録しても、ポートターミナルから大型バスに分乗して大阪や京都に繰り出してしまい、兵庫県は素

通りされている。そこには、兵庫県のコンテンツPR不足もあるが、クレジットカードや電子マネーが使えない飲食店やタクシーが多いなど、大阪と外国人を受け入れる体制でも劣っているとされている。

兵庫県として、各都道府県、各市町村との連携を重要視すべきであり、また篠山市においては、京都や大阪からも近いというアクセスを積極的に利用し、兵庫県や他県に対して協力体制を依頼していくべきであろう。さらには、神戸港から篠山市への送客手段として、大型バスやクルーズ客用モデルコースの造成等を含んだタクシー運行事業、また10月から篠山観光ステーションで始めるレンタカーの活用やレンタサイクル、巡回バスなど二次交通の充実が必要である。そして、篠山市でしか出来ないこと、魅力あるコンテンツを用意し、受入体制を整えてインバウンド客を呼び込むことが、経済効果をもたらす地方創生となると感じた。

① 視察先 青森市文化観光交流施設 ねぶたの家 ワラッセ（青森県青森市）

青森ねぶた祭は、日本を代表する祭りの一つで、青森の夏の夜を熱くエネルギッシュに彩る祭りである。平成30年は、8月2日～8月7日まで開催された。

本番のねぶた祭で運行された4台の大型ねぶたを展示している。

青森の発展を見届けてきたねぶた祭りの歴史や魅力を余すことなく紹介されており、ねぶたの全てを1年通じて体験することが出来る夢の空間となっている。

② 視察先 特別史跡 三内丸山遺跡（青森県青森市）

三内丸山遺跡は、江戸時代から知られている有名な遺跡である。

平成4年から始まった発掘調査では、縄文時代前期～中期の大規模な集落跡が見つまっている。たくさんの堅穴建物跡や堀立柱建物跡、盛土、大人や子どもの墓などのほか、多量の土器や石器、貴重な木製品、骨角製品などが出土した。

青森県は、遺跡の重要性から、平成6年に遺跡の保存を決定した。

平成7年から遺跡の整備と公開を行い、平成14年11月には縄文時遊館が開館した。

平成9年3月には国史跡に指定され、さらに平成12年11月には特別史跡に、平成15年5月には出土品1958点が重要文化財に指定され、今後世界遺産登録を目指している。



領収証
No. 9470
現・チ・ク・割引
日付 2018年 07月 27日
車番 000516
基本運賃 ¥1,390円
合計 ¥1,020円
上記の様に領収致しました

HITSUYA-G. TAXI

TEL 0172(32)2281

領収証
No. 9470
日付 2018年 07月 27日
車番 000516 0000
基本運賃 ¥1,390円
合計 ¥1,390円
上記の様に領収致しました
(株) 青森中央タクシー
青森市千富町2丁目9-2
TEL 017-781-5311

領収書
No. 7345
現・チ・ク・割引
日付 2018年 07月 26日
車番 000139 0000
基本運賃 ¥660円
合計 ¥660円
上記の様に領収致しました
グリーン交通(株)
弘前市高田1丁目5-22
TEL 0172-28-8080

領収証
No. 4992
日付 2018年 07月 27日
車番 000550 0000
基本運賃 ¥1,480円
合計 ¥1,480円
上記の様に領収致しました
(株) 青森中央タクシー
青森市千富町2丁目9-2
TEL 017-781-5311

領収書
No. 7901
日付 2018年 07月 26日 12:13
車番 000134 0000
タクシー料 ¥930円
合計 ¥930円
上記の様に領収致しました
株式会社 弘前駅前タクシー
青森市大字境関下豊川8-2
0172-28-8888

領収証
ご利用日付 2018年 07月 27日
時刻 07時49分
取引内容 乗車券類
購入金額 金1340円
お支払方法 内訳
現金 金1340円
伝票番号 51371
この領収証は大切に保存してください。
毎度ありがとうございます。
弘前駅券102発行
JR東日本

0000-1988

2018年 7月27日金曜日

一以・維新

領収証
様

¥1,200-

(消費税 ¥0)

但し、入場料(各様分)として
青森市文化観光交流施設 青森市安方1-1-1
ねぶたの家 フ・ラッセ TEL:017-752-1311
*保管上のお願い
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。



担当者
領収証No 1393

領収書

Receipt

2018年 7月27日(金) 14:54 001号機

¥1,400-

上記金額確かに領収いたしました
購入商品 バス乗車券類

ジェイアールバス東北株式会社

領収書

一以・維新

様

平成30年 7月25日

総合計金額 ¥

6,480-

上記金額正に領収いたしました。但し 手土産代 2箇所分

お食事処・丹波篠山の特産品販売・宿泊施設
株式会社アクト篠山

〒669-2332 兵庫県篠山市北新町97番地
TEL(079)552-6668 FAX(079)552-6701
E-mail act_s@group.tanba-sasayama.com



取扱者印



本紙に取扱者のないものは無効です

領収証

新維以

様 No.

★ 7 114,200

内 訳	
現金	
小切手	/
手形	/
消費税額等(%)	

但 3/26 交通費等

20年 7 月 17 日 上記正に領収いたしました

兵庫県篠山市東岡屋
 有限会社 丹波旅行セクタ
 代表取締役 松本 洋
 TEL(079)552-2247番

